

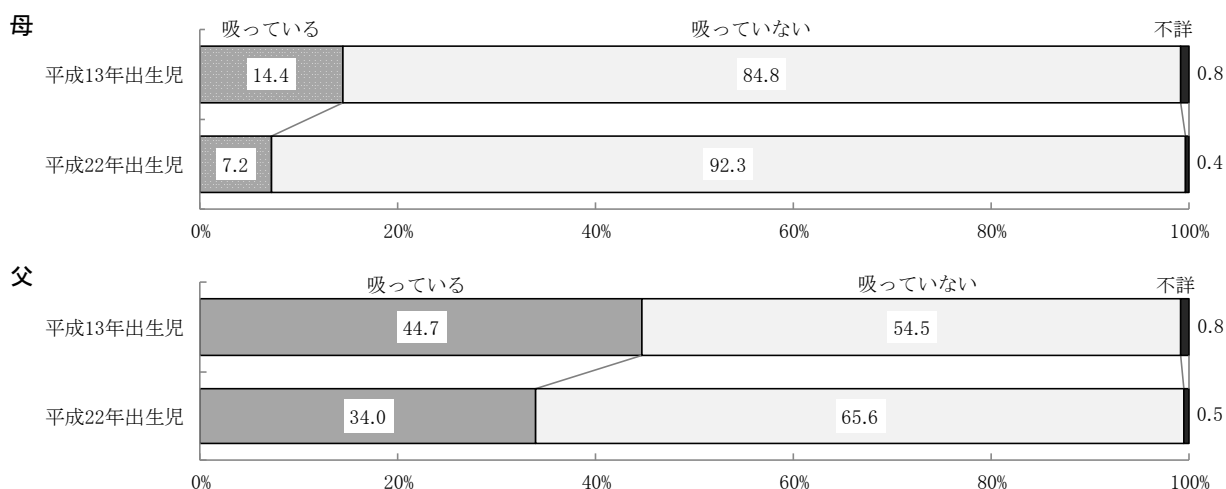
### 3 父母の喫煙状況

#### 母・父がたばこを「吸っている」割合は、平成13年出生児（第9回）と比べて低い

平成22年出生児について、父母の喫煙状況をみると、母がたばこを「吸っている」割合は7.2%で、平成13年出生児の14.4%より7.2ポイント低く、父が「吸っている」割合は34.0%で、平成13年出生児の44.7%より10.7ポイント低くなっている（図9）。

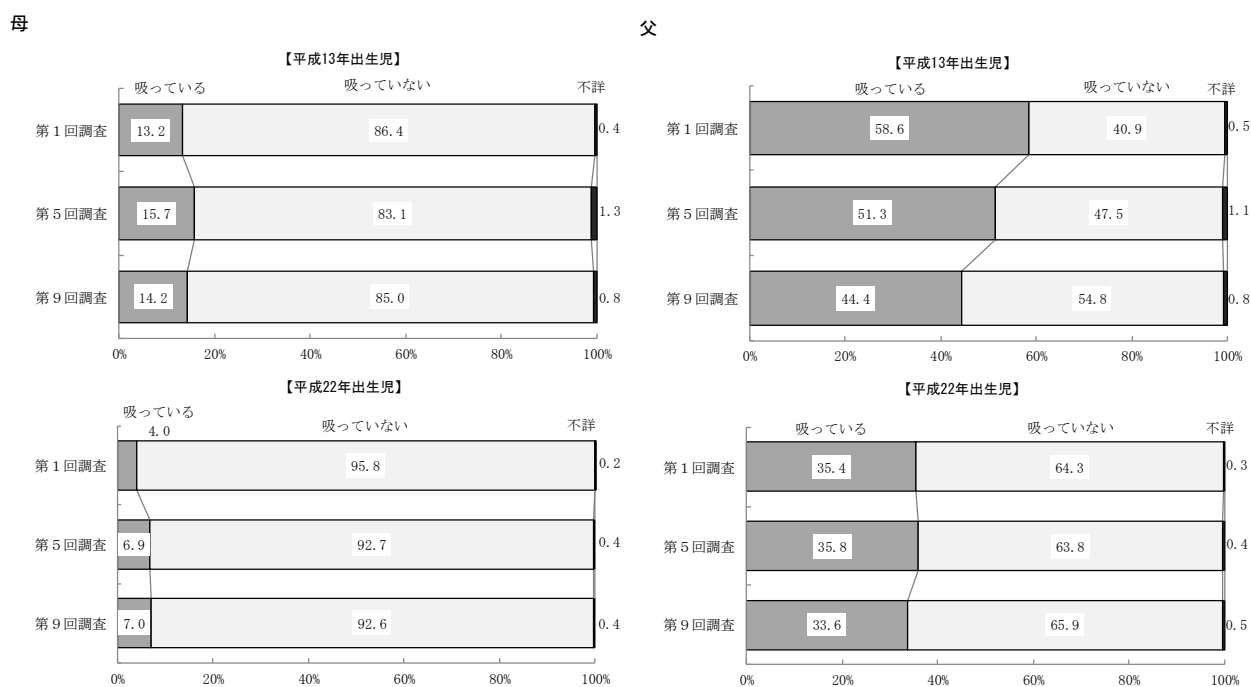
また、平成13年出生児と平成22年出生児の第1回調査、第5回調査及び第9回調査の推移を比較すると、母はいずれも第5回調査で上昇しているが、その割合は母・父ともに平成13年出生児よりも平成22年出生児は低い割合で推移している（図10）。

図9 母一父の喫煙状況の世代間比較



注：母の喫煙状況は第9回調査で母と同居している者（平成13年出生児総数34,961、平成22年出生児総数24,077）を、父の喫煙状況は第9回調査で父と同居している者（平成13年出生児総数32,453、平成22年出生児総数22,453）を集計。

図10 母一父の喫煙状況の変化・世代間比較



注：母の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで母と同居している者（平成13年出生児総数34,125、平成22年出生児総数23,228）を、父の喫煙状況は第1回調査、第5回調査及び第9回調査のすべてで父と同居している者（平成13年出生児総数31,229、平成22年出生児総数21,441）を集計。